



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年10月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomono-mori.net> <mailto:info@kodomono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



酷暑や長雨につづき、夏から秋を飛び越えたような寒さ、
極めつけは季節外れの台風来襲と、今年は本当に不順な天候がつづきます。

台風の被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

そんな気候の中でも、“どんぐり”たちはきちんと育ってくれています。

自然の底力を感じますね。

(写真：今年届けられた東北の“どんぐり”)

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動 協力植樹フィールドのご紹介
2. 「東北復興グリーンウェイブ」 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート
3. 事務局からのお知らせ

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2017年10月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. J P子どもの森づくり運動 協力フィールドのご紹介

J P子どもの森づくり運動の活動では、子どもたちが育てた“どんぐり”の苗木を植える植樹フィールドが必要です。しかしながら、植樹フィールドの確保は、特に都市部においてなかなか難しく、そのことが活動の継続の妨げとなっています。そこで事務局では、これまで様々な機会を活用して活動の趣旨にご共感いただき、植樹フィールドをご提供いただけるアウトドアパーク等の施設との関係づくりやオリジナルの植樹フィールドづくりを推進してまいりました。結果、2017年10月現在、下記のフィールドとのコラボレーションが実現しました。つきましては、フィールドの詳細情報をホームページにアップして、皆様に情報提供させていただくこととしました。活動でご活用いただければ幸いです。**事務局では、これからもこの様な取り組みを積極的に推進し、情報の充実に務めてまいります。**

1) 協力フィールド情報

NO	所在地	フィールド名	コメント
1	岩手県山田町	「東北復興グリーンウェイ」 しいたけの森	「東北復興グリーンウェイ」で全国から届けられる東北の“どんぐり”の苗木の植樹地。植えられた苗木は、山田町の復興産業としてのしいたけの「ほだ木」として活用される。
2	岩手県山田町	「東北復興グリーンウェイ」 カキの森	「東北復興グリーンウェイ」の植樹地。川のほとりにある。“どんぐり”の森づくりを推進することで、森の栄養が川を経由して海に届けられ、山田町のカキの養殖に寄与する。
3	千葉県市原市	体験農園 やもかのなかま	千葉県にある体験農園。運動のスペシャルサポーターであるチェンソーカービング世界チャンピオン栗田宏武氏の活動フィールド。中目黒駅前保育園（東京）の植樹地。
4	山梨県河口湖町	河口湖自然楽校	NPO法人河口湖自然楽校が運営するアウトドアパーク。家族で楽しめる様々なアクティビティが用意されている。エンゼル幼稚園（静岡）の植樹地。
5	岐阜県白鳥町	油坂さくらパーク	桜をコンセプトとするコテージ村。芝生広場や親水池、釣り堀、ターザンロープ、すべり台などファミリーで楽しめる施設が設置されている。浄心こどもの城こども園の植樹地。
6	福井県大野市	前坂キャンプ場	九頭竜川の支流「石徹白（いとしろ）川」が育んだ豊かな自然環境の中で、様々なアウトドアが楽しめます。大野幼稚園（福井県）をはじめ、北陸ブロックの共用植樹フィールド。
7	広島県廿日市市	県立もみの木森林公園	広大な敷地の中で、あらゆるアウトドアアクティビティが楽しめる森林公園。2017年、共用植樹フィールドとしてのコラボレーションが成立。
8	熊本県阿蘇市	夢☆大地グリーンバレー	雄大な阿蘇の大地の中で乗馬が体験できる貴重なアウトドア体験フィールド。青い鳥保育園（福岡）をはじめ、九州ブロックの共用植樹フィールド。

2) ホームページ活用方法

- ①ホームページトップページ左フレームの「協力フィールド紹介」をクリックして下さい。
- ②情報ガイド全国MAPが表示されます。調べたいエリアの都道府県をクリックしていただくと、もよりのフィールド情報が表示されます。**現在は、上記リストの情報のみとなっております。**
- ③施設利用は、原則、有料となっております。（「しいたけの森」「カキの森」除く）



協力植樹フィールド
情報ガイド全国MAP

2. 「東北復興グリーンウェイ」 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート（詳細ホームページご参照）

●広島県「清水谷保育園」 東北復興グリーンウェイ「苗木を見送る会」

- ・日時：2017年5月8日（月）・場所：自園
- ・日本郵政グループ：広島鶴江郵便局 清水局長、茂陰郵便局 羽山局長 広島温品郵便局 皆戸局長

広島市東区 第1回『どんぐりの苗を送る会』 清水谷保育園

2016年5月8日に初めて東北のどんぐりを植えました。

子ども達は、「芽が出るとよ！」「大きくなってきたね！」と生長を喜び、冬に葉が落ちた時は「枯れたのかな？」「大丈夫かな？」と心配し、春にまた葉が出て「良かった～！」と安心する姿が見られました。1年を通して子ども達の心の成長に大きく関わってきたどんぐり。

2017年5月10日、元気に育った11株を東北へ送る会を行いました。

～どんぐりの苗を送る会～



年長が考えた創作紙芝居

『どんぐりとおんなのこ』

を読みました。その後、みんなで

♪どんぐりころころ

♪どんぐり(リズム運動の曲)

を歌って、踊りました。局長さんもノリノリ！

年少、年中、年長の3クラスでお見送りです。

近くにある郵便局3局からそれぞれ局長さんをお招きしました。園長先生から「東北の震災の話」「どんぐりの苗がどこに行って、どうなるのか」お話しがありました。

日本地図で広島県と岩手県の位置を見て「とおいね～！」「どうやって行くの？」と驚きや疑問の声が上がりました。

局長さんから「トラックで運ぶんだよ」と教えてもらいました。



●広島県「春日野まごころ保育園」 東北復興グリーンウェイ「苗木を見送る会」

- ・日時：2017年5月16日（火）・場所：自園 ・日本郵政グループ：山本郵便局 堀元局長

*今回は10本送って下さいました。苗木越しの子どもたちのダンス。苗木もスイング♪一緒にダンスしているようです。

楽しい気分になりますね。園児のみなさん。2年間一緒にいた苗木さんとしばうくは会えないけど、いつか、会えたらいいね。



3. 事務局からのお知らせ

1) 「東北復興グリーンウェイブ」の“どんぐり”が届きます。

今年も、「東北復興グリーンウェイブ」で全国の参加園に届けられる東北の“どんぐり”拾いが行われました。間もなく、皆様のお手元に届くと思いますので今年もポットやプランターに植え替えて大切に育ててください。全国から届けられた苗木は、山田町の苗畑でもう一年育てられ、その後「しいたけの森」「カキの森」に植え替えられます。苗畑の苗木は元気に育っています。

*写真：岩手県山田町 苗畑風景（2017年9月）



今年の東北の“どんぐり”拾いには、岩手県一関の「桜保育園」が新たに参加してくれました。*写真：「桜保育園」“どんぐり”拾い活動（2017年10月19日）



2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のご案内

ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」で「ナツオワキャンプ2017」の活動がアップされました。是非、ご覧下さい。

*視聴方法

①「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomono-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

②左記のQRコードからでもご覧いただけます。



●新・どんぐり博士の育苗講座(2017年10月号) ～病虫害への対処2～

コナラなどの葉を落とす種類のどんぐりの苗木は、まもなく葉が枯れて落葉します。葉が緑色の今のうちに、葉の状態を観察して、苗の健康状態をチェックしてみましょう。
子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



7・8月号のこの講座で病虫害の被害について触れました。苗木が冬の休眠に入り葉が枯れてしまう前に、病気や食害の痕跡がないかももう一度確認してみましょう。我が家の苗では、葉脈を一部残した穴がいくつか確認されました。これは8月号に記したアメリカシロヒトリの幼虫（毛虫）が、葉の表面を削り取るように食べた後です。幸いその他の食害や病気の痕跡はありませんでした。

害がもっとひどい場合もあるかもしれません。7・8月号に記した対処法は、予防および被害の拡大を防ぐことが中心でした。それ以上の効果と根治を目指すのであれば薬剤の使用も考えなければなりません。薬剤は使わない方が多いと思いますが、化学薬品が身近に存在する現在、薬剤への知識もある程度必要です。

園芸や野菜栽培用に、病気と虫の被害に総合的に対処できる薬剤が販売されています。重層や竹酢液などの自然素材を中心としたものから、殺菌殺虫両方の効果が高く持続期間も長いものまで多種多様です。人への影響を小さくしたいなら、野菜栽培にも使用でき、原料に自然素材が多く残留期間の短いものが良いです。症状がひどい場合は、散布後人が触れないように対策をして、より強い薬剤を使う必要があります。

しかし、決して植物栽培目的以外の薬剤は使用しないでください。大変安価で手軽に手に入る殺虫スプレーは、空中への少量散布と即効性が目的です。植物全体にまんべんなく散布するなどの使用はいけません。